

Title	編集後記
Sub Title	
Author	小尾, 恵一郎
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1955
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.48, No.1 (1955. 1)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19550101-0087

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

○純粹なラジウムは百トンのドロ（ピッチブレンド）から七・五匁の百萬分の一くらいしかとれないそうである。六十年も昔の話、パリでピエルキュリーと妻マリイスクロドフスカが純粹な一片のラジウムをとりだすべく自らモッコをかついでこの泥の運搬精製にあたっていたとき、一方當時理論物理学の中心であつたイギリスのキャヴェンディッシュ研究所ではロードケルヴィンの弟子で近代素粒子論の祖となつたラザフォードが、発見された新事實に基いて、"手によごさずに"美事な原子の模型をどどん作りあげていた。（この仕事をキュリー夫人は、「最高の價値を有する綜合的見地」と讃えている—キュリー夫人著ピエルキュリー傳による—）するとある日彼のもとに100グラウのラジウムが送られて來た。キュリー夫人の手になるものである。ラザフォードは一瞬ぼう然となり、やがて「ぼくはあの夫人の前におじぎをする」とつぶやいたそうである。（「ついに太陽をとらえた」に載せられたエピソード）

○われわれの専門とする科學では勿論歴史的地理的等の「特殊性」が忘れられてはならないであらう。けれども特殊性の何であるかは一般性が何かを求めるとき、対象の中に時間、空間に制約されぬ共通の基礎が明となつたとき、はじめてくつきりと浮ほりにされるものと考えられる。普遍的な討論の場とゆるぎない事實が科學のしんしやうであらう。

○たまたまこの號から論文レジュメの英譯が載せられることになつた。これも亦討論の場をひろめわれわれの科學の進展のよすがともなることを期待するのは編集者ばかりではないであらう。

（小尾 惠一郎）

昭和二十九年十二月二十五日印刷
昭和三十年一月一日發行

第四十八卷 定價 七〇圓
第一號 送料 四圓

編集者 東京港區芝三田慶大經濟學部内
發行者 氣 賀 健 三

印刷所 東京港區芝三田豐岡町八
川 口 芳 太 郎
圖書印刷株式會社

豫約購讀料

一年分 金八四〇圓（送料共）
半ヶ年分 金四二〇圓（〃）

發行所 東京港區芝三田二丁目
慶應義塾大學經濟學部研究室内
慶應義塾經濟學會